

7月29日：新型コロナ感染者増でVN指数は再び下落

VN指数は2.77%安の790.84ポイントで水曜日の取引を終えた。午前中に8人の新規感染者が確認されたことが嫌気された。

午前中には指数は813ポイントから780ポイント付近まで下落した。その後買い戻しが入り10ポイントほど底値から反発した。

ダナン市で新型コロナ感染者が増加したことが相場下落のきっかけとなった。大きく下落したため780ポイント付近では買い戻しが入り10ポイントほど上昇した。

直近5日間で、110万人都市のダナンで26人の感染者が確認されている。クアンナム省が3人、クアンガイ省でも1人が確認され合計で30人ほどに達している。

ホーチミン取引所では352銘柄が下落し59銘柄が上昇した。売買代金は5.46兆ドンであった。

VN30指数は2.78%安となり29銘柄が下落して取引を終えた。

FLCファロス建設(ROS)は6.7%安、ペトロベトナムガス(GAS)は6.3%安、ビンコムリテール(VRE)は6.1%安となった。

TTC製糖(SBT)、コテコンズ建設(CTD)、サイゴンビール(SAB)などはそれぞれ5.7%、5.6%、5%安となった。

中堅銀行も振るわなかった。軍隊商業銀行(MBB)が4%安、サコムバンク(STB)が3.8%安、VPバンク(VPB)は3.6%安、テクコムバンク(TCB)は3.2%安となった。

ベティンバンク(CTG)は3.9%安、BIDV銀行(BID)は2.4%安、ベトコムバンク(VCB)は1.3%安といったように国営銀行も軒並み下落した。

ビンググループ(VIC)は2%安、ビンホームズ(VHM)は2.4%安となった。

エクシムバンク(EIB)は7%高で相場に逆行した。

ハノイ取引所のHNX指数は1.05%安、UPCoM指数は1.99%安となった。

外国人投資家は3100億ドルの買い越し、VCBに買いが集中した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。